

1 部

学習サポート

各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2017』にてご確認ください。
 - ・ p. 4～5→学年暦　・ p. 26～29→通信教育部カレンダー
 - ・ p. 38～41→社会福祉士　演習・実習科目関連締切等
 - ・ p. 42～44→精神保健福祉士　演習・実習科目関連締切等

2 / 5～3 / 25 の追加・変更点

- 2 / 18 「社会福祉援助技術実習指導 A（東京）」会場・時間変更
（変更前） 東京サテライト（四ツ谷） 10：30～17：50
（変更後） TKP市ヶ谷カンファレンスセンター　4階ミーティング
　　ルーム4E・4G　9：30～16：40
- 「特講（地域と生活）」スクーリング開講日
3 / 24・25　仙台　　※詳細は本冊子 p. 22 をご参照ください。

アンケートのお願い

「TFU オンデマンド」など Web 学習システム、および学費体系等について、アンケートへの回答をお願いします（本冊子 p. 36～37、50～53 参照）。

手軽に最新の論文や ニュース記事を見るには

教員 MESSAGE

助教 平泉 拓

皆さんは心理学を学んで関心のある概念や研究に触れたとき、どのようにその内容を深めていますか？レポートを作成していて、あるいはスクーリングを受講していて、気になった内容をさらに知りたいときは、本を読んだり、インターネット検索することが多いと思います。しかし、「知りたいことが知れない」とストレスに感じることはないでしょうか。

実は、手軽に【最新の研究知見を「浴びる」方法】、【興味あるニュース記事を「浴びる」方法】があります。前者は英語が苦手でも最新の知見に触れることができ、後者はスマホ（アイフォン）で見れるのでおすすめです。

以下を読み進める前に注意点です！ この方法は、「試してみたけどうまくできない」という風になることもあります。ぜひパソコンやスマホに詳しいご家族や友人に時間をもらって、一緒にやってみてください。

まず、【最新の研究知見を「浴びる」方法】です。これは、パソコン限定の方法です。GoogleのGmailアカウントがあるとよいです。1. Google Scholarアラート (<https://scholar.google.co.jp/>) というページを開きます。次に、2. 「アラートを作成」というボタンを押して、関心のあるキーワードを登録します。たとえば、ビデオ会議ツールというのを使って離れた地点同士で心理療法をする「遠隔心理療法」というキーワードであれば、“psychological services via videoconference” や “videoconferencing psychotherapy” などと入力します。キーワードの英語訳がわからない方はGoogle翻訳を使うのがいいかもしれません。

すると、3. 定期的に登録したメールアドレスに関連論文の一覧が届きます。4. 届いたメールは、「翻訳されたメッセージを表示」というボタンで翻訳します。どんな記事か日本語で一目でわかります。さらに、5. 気になる関連論文のURLをクリックすると英語のHPに飛びます。ここからが大切です！6. パソコンで右クリック（Macユーザーの場合はダブルクリック）し、「日本語に翻訳」を選択します。すると、英語のHPがなんと日本語になります。さらに、7. キーボードの「F 5」キーを押すと、英語に戻ります。「日本語に翻訳」と「F 5」キーを繰り返し使うことで、英語と日本語のHPを交互に見ることができます。この方法を使うと、英語が読めなくても最新の論文や記事を見れるので、教授も知らないレポート作成の最新ネタを溜めることができます。

次に、【興味あるニュース記事を「浴びる」方法】です。1. ニューズピックス（NewsPicks : <https://newspicks.com/>）というHPを開きます。NewsPicksは、経済情報に特化したニュース共有サービスです。2. アカウントを登録します。3. 「マイニュース」を登録します。いくつかカテゴリーが選べるのですが、私は「テクノロジー」「ヘルスケア」「介護」「医療」などを登録しています。そして、4. スマホのアプリかHPを開くと、自分の興味のある記事を豊富に見ることができます。見たい記事がさくさく見つかるので、見たい記事を見れないストレスが減ります。ちなみに、スマホで見れるニュースでは、芸能ニュースが豊富な「Yahoo! ニュース」や「グノシー」、「Livedoor ニュース」が知られています。私はほとんどNewsPicksしか見なくなりました。最近ですとAI（人工知能）やVR（仮想現実）、AR（拡張現実）などという言葉が耳にすることが増えました。これらの動向を知ることができたり、レポート作成のネタがたくさん転がっているのでおすすめです。

レポート作成には「起・承・転・結」、「序論、各論、結論」、「問題、目的、方法、結果、考察」が大事であるなど書き方を教わることが多いですが、情報の仕入れ方についてはあまり扱われないものです。ぜひ、ご家族や友人と一緒に試して、情報通になってください！

スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会福祉原論（職業指導も含む） 元村 智明

- ・技術やテクニックだけでなく「福祉で働く人間」として、知っておかなければならないことを多く学べたと思います。
- ・紀元前から現在までの古今東西の福祉、社会福祉の歴史について学ぶことができ、改めて社会福祉の奥深さを感じることができました。

●社会保障論 阿部 裕二

- ・具体例も多く説明も分かりやすかった。予習をしていればもっと吸収できたと思っています。労働者保険などは身近な問題なので参考になりました。先生の見解を聞くことで、これぞ大学の学びなのだと実感しました。
- ・社会情勢の変化に伴って、制度を変えていく必要性は感じていましたが、どのように変えていくのかを考えるポイントを分かりやすく教えていただきました。現行制度が創られた背景も改めて振り返ることができました。

●福祉行財政と福祉計画（福祉計画法） 佐藤 英仁

- ・10月入学で初めてスクーリングを受講しました。学習するための進め方がイメージできました。授業内容もわかり易く、正確に覚えるべきことが多いことがよく分かりました。
- ・内容は難しいものでしたが、先生のわかり易い説明で理解することができました。地元の財政についてももっともっと関心を持とうと思いました。

●介護概論 後藤 美恵子

- ・先生の講義が聞き取りやすくとてもよかったです。高齢者について改めて一人の人として接していくことを再認識させられました。その人の人生に踏み込んで介護に携わっていくことに、もう一度取り組んでいきたいと決意できました。最後の看取りについてもターミナルケアの大切さを知ることができ、今までの学習と違った意味で理解が深まりました。

●精神保健学 阿部 正孝

- ・各ライフサイクルの段階や支援場面において、福祉職がどのような視点で関わるべきかという講義を聴くことができ、これからの仕事で関わりを持つうえでヒントとなりました。医療や教育などの領域の中で、福祉の目を持ち続けることの必要性を感じました。
- ・先生の授業から用語の意味は分かっている、実践でどのように役割を持ち、活用できるのか、具体的な事例から理解することができました。人を支援していくのは、その人個人を見つめることの大切さを改めて感じました。